

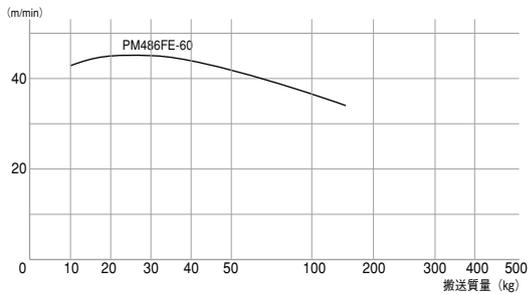


弊社ホームページに「パワーモラー選定サービス」を用意しております。(詳細は本紙P.12をご参照)

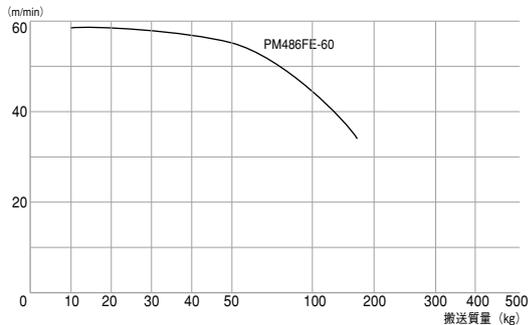
■設計上のご注意

▼PM486FE

● 0 → 1 m Aの平均速度 (DC24V 1本駆動 溝なしパイプ仕様)

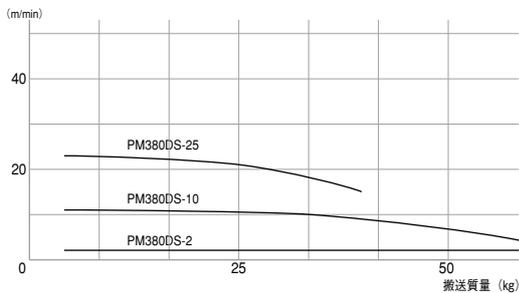


● 1 → 2 m Bの平均速度 (DC24V 1本駆動 溝なしパイプ仕様)

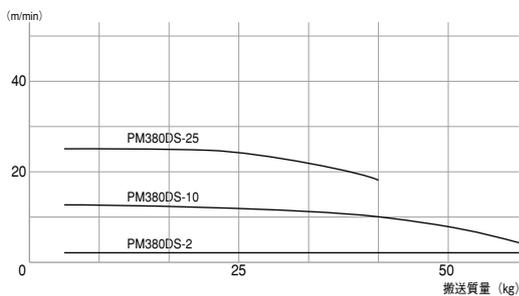


▼PM380DS

● 0 → 1 m Aの平均速度 (DC24V 1本駆動)



● 1 → 2 m Bの平均速度 (DC24V 1本駆動)



4 間欠運転

間欠運転の最短タクトタイムはおおむね次のとおりです。

型 式	最短タクトタイム
PM486XE・PM486XP・PM500XE・PM500XP・PM570XE・PM570XP・PM605XE・PM605XP	1秒ON、1.5秒OFF
PM486FE・PM500FE・PM486FP・PM500FP・PM570FE・PM605FE・PMT42FE	1秒ON、1秒OFF
PM380DS・PM427DS	3秒ON、2秒OFF

5 接続部速度差

同一ライン、接続ラインで搬送速度が変わる場合、急激な速度変更はパワーモラーに強い衝撃を与えますのでご注意ください。搬送質量・速度により異なりますが、下流の速度が上流速度のおおむね50%以内なら支障ありません。

6 コンベヤ面レベル

- 搬送物の底面やコンベヤローラ面の水平精度が悪いと、空回りや搬送物の方向がゆがむ原因となり、特に重量物では実質荷重を受けるローラの許容荷重をこえる場合がありますのでご注意ください。
- 搬送物の荷造バンド・底面中心のふくらみ等により、搬送物が斜めになることがあります。このような場合は両端ゴムライニング品等をご使用ください。

7 制動

- パワーモラーは電気式ブレーキを標準装備しています(ブラシレスモータタイプ)。専用ドライバ使用時のRUN→STOPで電気式ブレーキが作動し制動がかかります。

8 慣性

- パワーモラーは非通電にしてもモータと搬送物の慣性により即時に停止いたしません。
- 慣性はパワーモラーの速度及び型式・搬送物・質量・使用時間等により異なります。
- ブラシレスモータタイプのブレーキ内装仕様は電気式ブレーキ(標準装備)で慣性を止めた後に保持を行います。

イントロダクション

MDR

AC
パワーモラー

コンベヤ
コンポーネツツ

資料

FE
シリーズ

FP
シリーズ

XE・XP
シリーズ

KE
シリーズ

テーバー
シリーズ

HS
シリーズ

DS
シリーズ

各種
オプション

専用
ドライバ

アクセサリ

選定方法

設計上のご注意

配線図

製作可能寸法

モジュールユニット



イントロ
ダクション

M D R

AC
パワー
モータ

コンベヤ
コンポー
ネンツ

資 料

コンベヤ
用途別選定

ご採用
事例

ご注文
方法

φ38

φ42.7

φ48.6

φ50

φ57

φ60.5

φ76.3

テーパー

モータ
プーリ

各種
オプション

選定方法

設計上の
ご注意

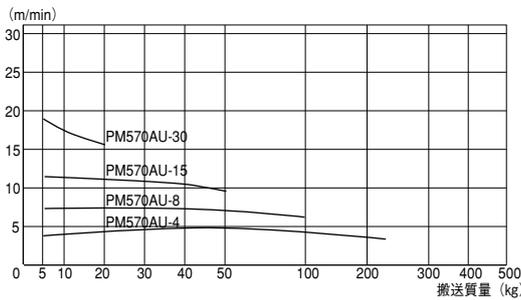
配線図

電圧一覧

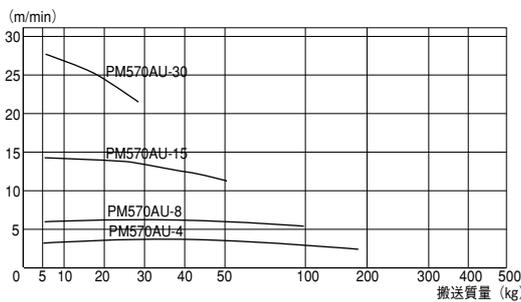
製作可能
寸法

▼PM570AU 3相200V 50Hz

● 0 → 1m 図1のAの平均速度 (PM570AU 1本駆動)

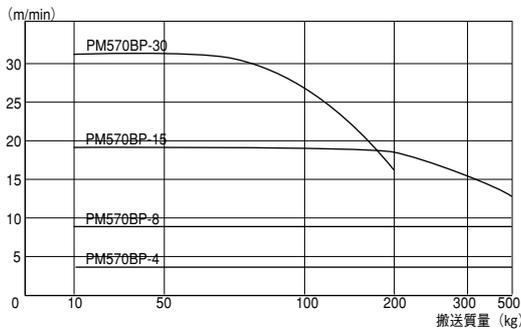


● 1 → 2m 図1のBの平均速度 (PM570AU 1本駆動)

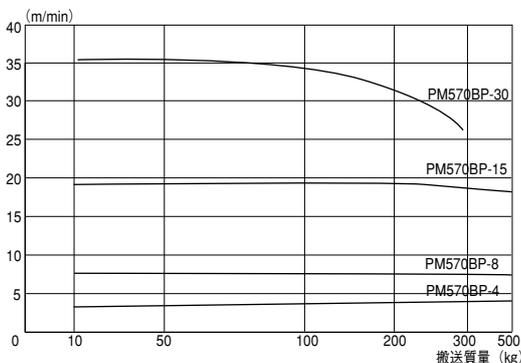


▼PM570BP 3相200V 50Hz

● 0 → 1m 図1のAの平均速度 (PM570BP 1本駆動)

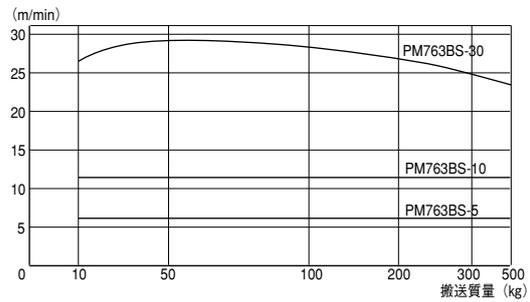


● 1 → 2m 図1のBの平均速度 (PM570BP 1本駆動)

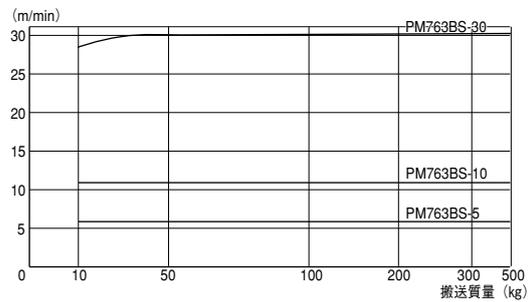


▼PM763BS 3相200V 50Hz

● 0 → 1m 図1のAの平均速度 (PM763BS 1本駆動)



● 1 → 2m 図1のBの平均速度 (PM763BS 1本駆動)



4 間欠運転

間欠運転の最短タクトタイムはコイル温度の関係よりおおむね次のとおりです。

型 式	最短タクトタイム
PM380AS・PM427AS・PM486BS・PM500BS PM570AS・PM605AS・PMT42YS・PMT42AS PMR42BS	3秒ON、2秒OFF
PM570BP・PM605BP	3秒ON、5秒OFF
PM763BS・OR-F・OR-G・IP-G	10秒ON、10秒OFF

アキュムタイプ (PM380AU、PM427AU、PM486BU、PM500BU、PM570AU、PM605AU) はタクトタイムの制限はありません。

注) 単相仕様はタクトタイムは長くなります。詳細はお問い合わせください。

5 接続部速度差

同一ライン、接続ラインで搬送速度が変わる場合、急激な速度変更はパワーモータに強い衝撃を与えますのでご注意ください。搬送質量・速度により異なりますが、下流の速度が上流速度のおおむね50%以内なら支障ありません。

6 コンベヤ面レベル

● 搬送物の底面やコンベヤローラ面の水平精度が悪いと、空回りや搬送物の方向がゆがむ原因となり、特に重量物では実質荷重を受けるローラの許容荷重をこえる場合がありますのでご注意ください。

● 搬送物の荷造バンド・底面中心のふくらみ等により、搬送物が斜めになることがあります。このような場合は両端ゴムライニング品等をご使用ください。